

平成 31 年 3 月 12 日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 須田 哲
経営サポートセンター リサーチグループ
グループリーダー 川森 大輔
担当 松原・荒牧
電話 03-3438-9932

平成 29 年度 病院の経営状況に関するリサーチレポート 及び経営分析参考指標について

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について経営分析参考指標及びリサーチレポートとして集計・分析しています。

このたび、平成 29 年度の病院の経営状況について、とりまとめました。

詳細はホームページに掲載しております。

〈経営分析参考指標〉 <https://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-keieiqa-tabid-1976/>

〈リサーチレポート〉 <https://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-report-h30/>

リサーチレポートの概要

- 一般病院の医業収益対医業利益率は 1.2%で前年度から 0.9 ポイント上昇した。療養型病院は前年度と同じ 4.7%、精神科病院は前年度から 0.6 ポイント低下の 1.9%となった。
- 赤字*施設の割合は、一般病院は前年度から若干縮小して 36.7%となったが依然として高く、厳しい経営状況が続いている。療養型病院は 22.1%、精神科病院は 29.5%となった。
- 一般病院のうちおもに 7 対 1 入院基本料を算定する病院では、300 床以上の大規模病院の医業収益対医業利益率が上昇していた一方で、中小規模の病院では、医業収益対医業利益率は引き続き低下、一部ではマイナスとなって、一層の厳しい経営状況がうかがえた。
- 療養型病院では、おもに療養病棟入院基本料 2 を算定する病院の医業収益対医業利益率が、他の入院基本料を算定する病院と比べて顕著に低かった。
- 精神科病院では、おもに精神病棟入院基本料（15 対 1）を算定する病院の医業収益対医業利益率が 0.5%ともっとも低かった。

* 経常利益が 0 円未満

以上